

く　　す　　や　　ま　　と　　り　　で　　あ　　と　　ち　　ょう　　さ
栗　栖　山　砦　跡　の　調　査



1999. 1. 23



(財)大阪府文化財調査研究センター

栗栖山砦跡について

栗栖山砦跡は茨木市佐保字クルスに所在し、国際文化公園都市造成に先立ち発掘調査を進めています。

調査により戦国時代（16世紀なかば）の砦跡であることがわかり、造成された平坦地・通路・建物跡・石垣・堀・土塁など、砦の構造が良好に確認できました。砦のいたるところから防御と攻撃の機能を見ることができ、当時の人々が自然地形をうまく使いながら、いかに工夫をし、より強固な砦をつくりあげたかが、読み取れます。砦全体の構造が明らかとなった調査として貴重な資料となりました。

北摂地域のみならず、丹波、京都などの周辺地域をも含めた戦国時代の社会情勢を考える上で、非常に重要な位置を占める砦と思われます。

調査でわかったこと

●**砦の位置とかたち** 非常に急斜面な尾根の先端にあります。頂上には平坦面（曲輪と呼びます）が3か所連なり、その周りには段状に三日曲輪が尾根と谷に連なっています。

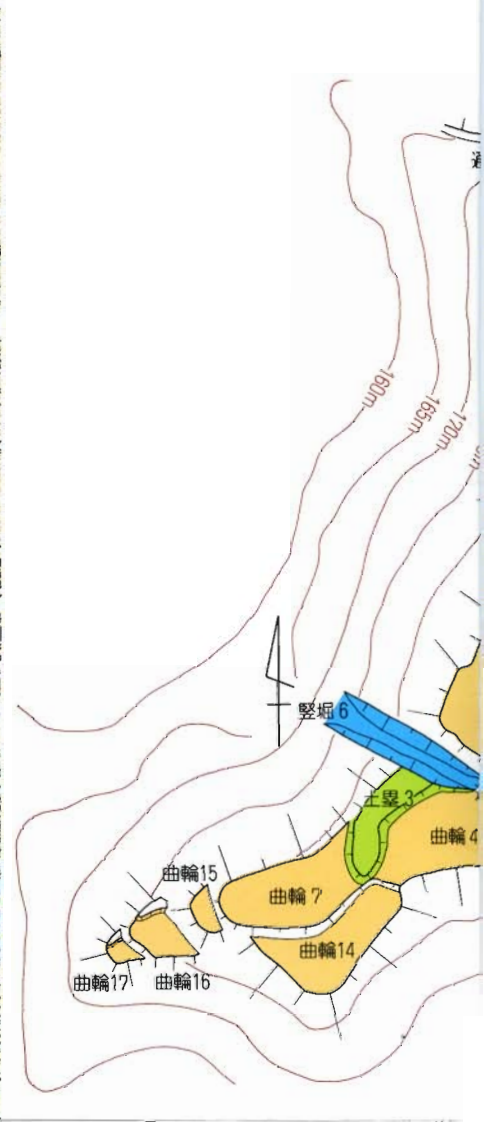
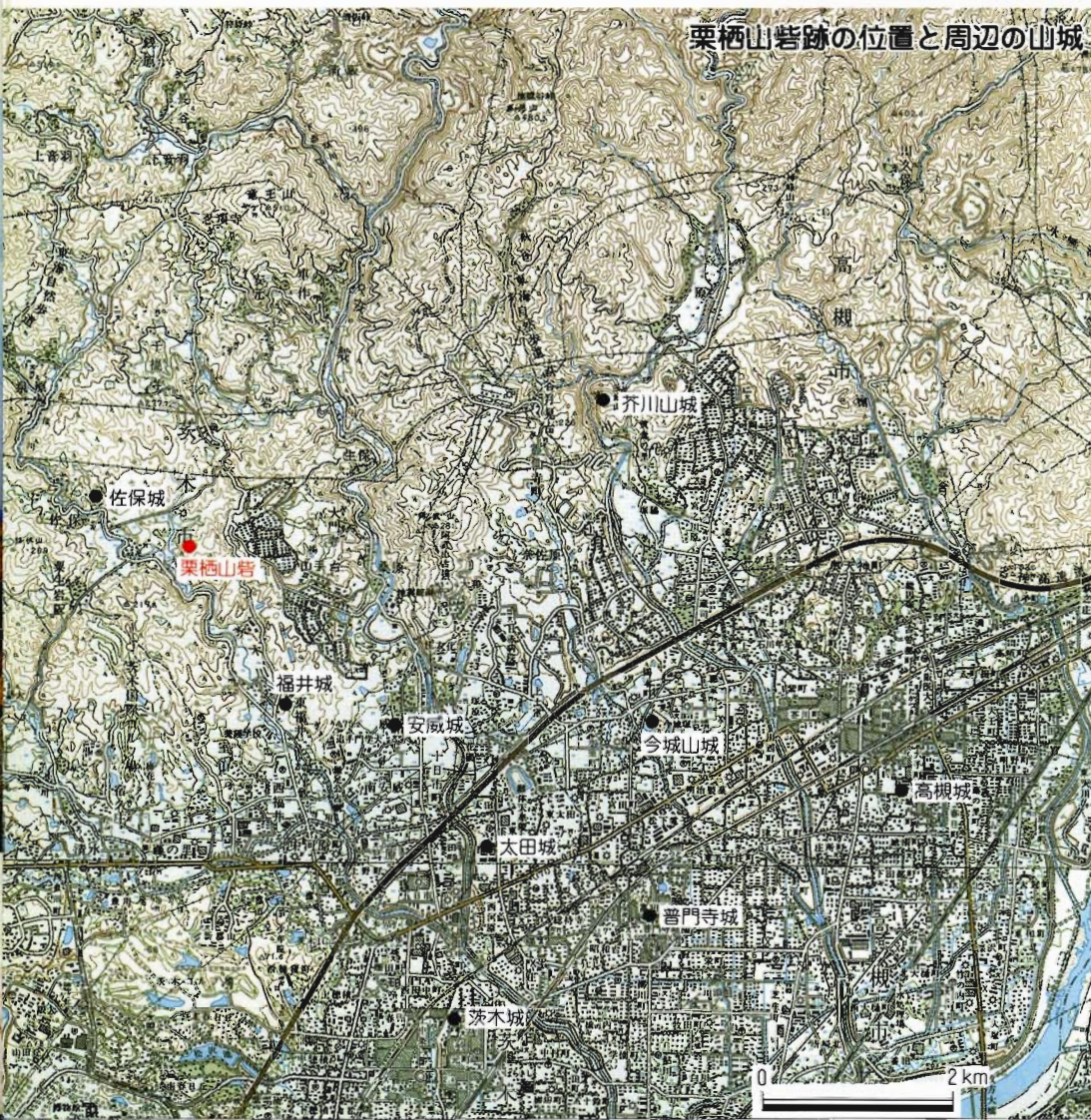
●**建物** 曲輪1・2・3からみつかりました。曲輪1の建物は礎石です。この建物跡からはスサが混じった土の塊が多量に出土しており、覆われた建物であったことがわかりました。また、曲輪の地面やこの礎石は赤く焼けており、火災にあったこともわかりました。

●**石垣** 曲輪の斜面のいたるところから石垣がみつかりました。1〜が残っていませんが、当時はもう少し高さがあったのでしょうか。曲輪の面が崩れないようにするために設置したのですが、下から見上げた圧感があり、心理的な防御の機能も果たしていたと思われます。

●**堅堀** 尾根に対して垂直方向に堀を掘ることにより、敵の進入を妨

●**出入口・通路** 曲輪1と2の間の北斜面から砦の出入口がみつかりました。通路5は石敷が施され、その両脇には石垣のある張り出しがありました。

●**砦の主** この砦に関する文書はなく、出土遺物からも具体的な歴史物と結びつけることはできませんでした。戦国時代は社会情勢が不安定であり、日々流動していました。この栗栖山砦もその渦の中で何人が主が入れ代わったかも知れません。





大きな
背形の

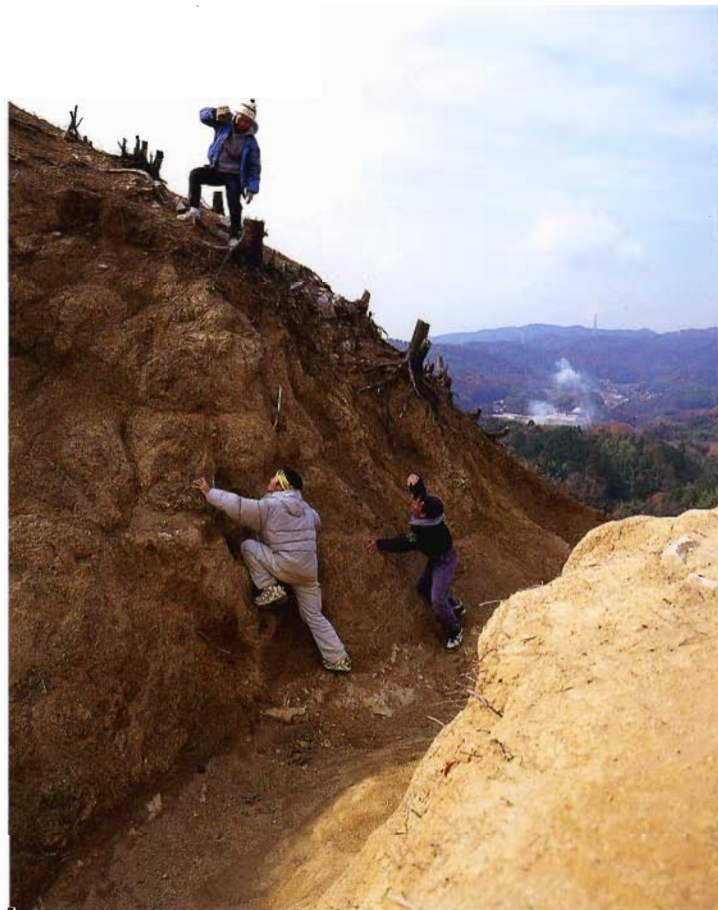
建物で
つちかべ
土壁で
ちかべへん
土壁片・

3段し
の平坦
時に威

びます。
ました。
た。
上の人
てい
定な時
とりで
の岩の

① 堅堀 1・2 屈曲部：

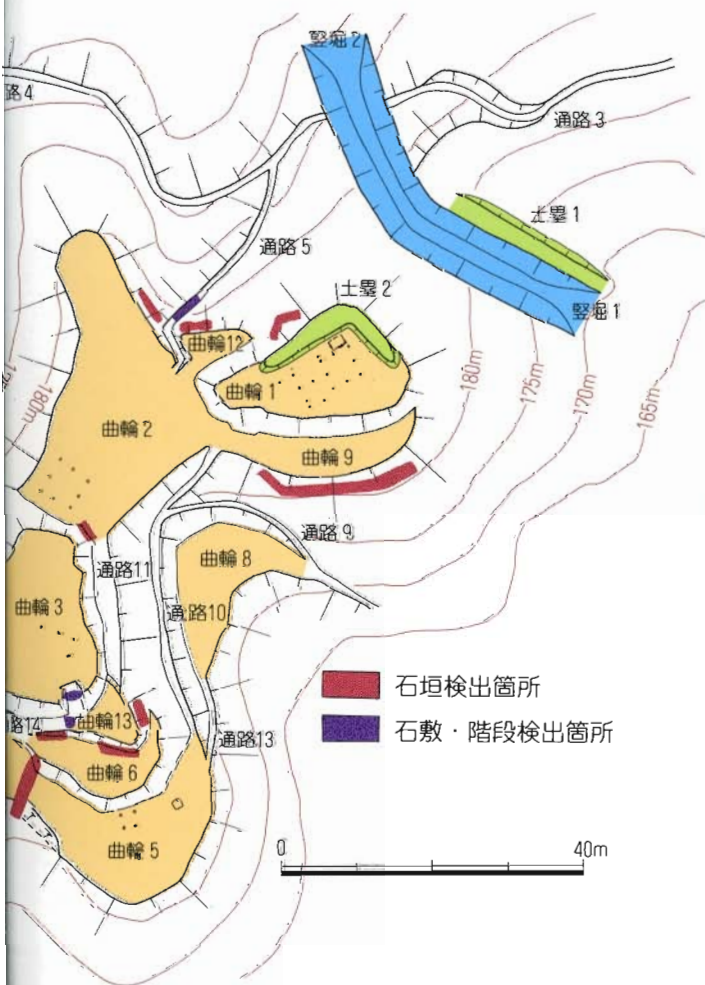
尾根頂上部は特に急斜面に掘っています。岩盤がむき出しになっているので、登ることは不可能。



④ 曲輪 1 北斜面の石垣：L字形に並んでいます。1段しか残っていません。



③ 通路 3 が堅堀 2 によって分断されています。でもなんとか歩いて渡ることができます。



② 堅堀 2：400年の間にこんなに埋まってしまいました。



⑤建物2：^{くるわ}曲輪2の南西端から2×2間の
 ほったてばしらたてもの
 掘立柱建物がみつかりました。



⑥鉄釉鳥形水滴（^{くるわ}曲輪2出土）：
^{せと}瀬戸地方産のものでくちばしの下
 の穴から水がでます。



⑦堀
 お
 折





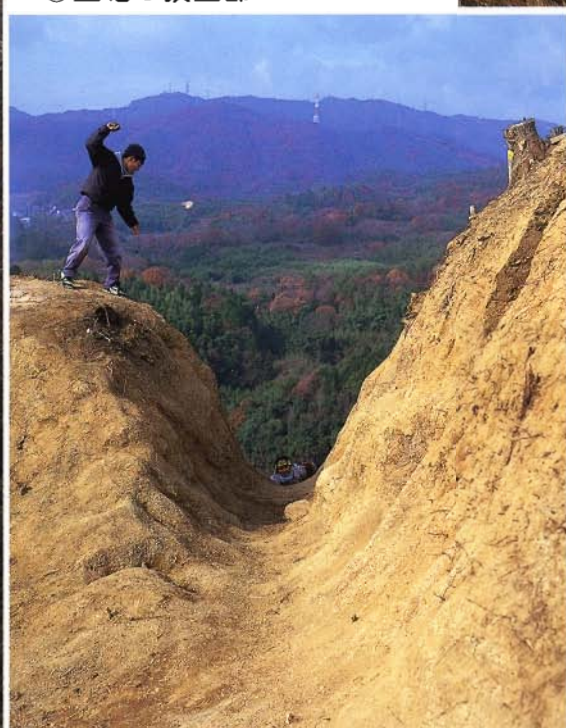
⑧の出入口：曲輪2へ登り切るまでに2回の
があり、簡単に入れないようになっています。



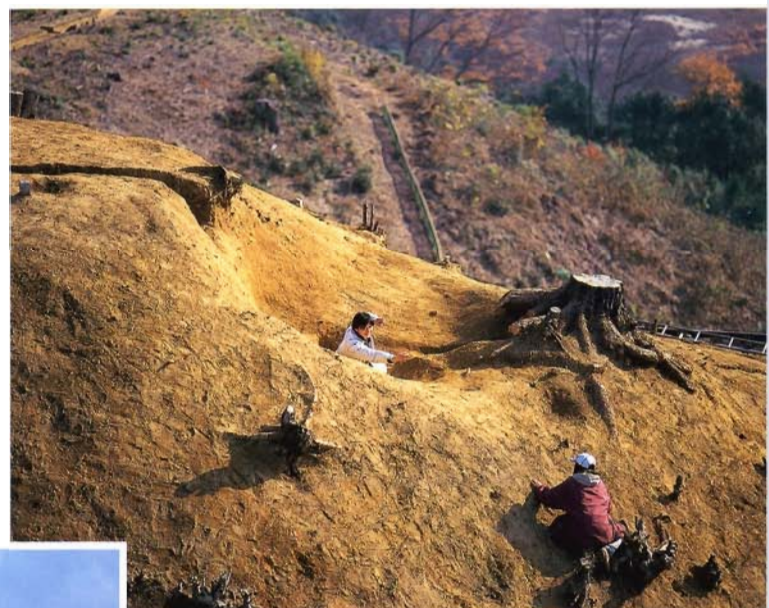
⑧の出入口：通路5には石敷、その両側には石垣があります。



⑩ 堅堀6 頂上部



⑩ 堅堀6：堀の深さは浅いですが、急斜面に造っているため、進入は難しい。

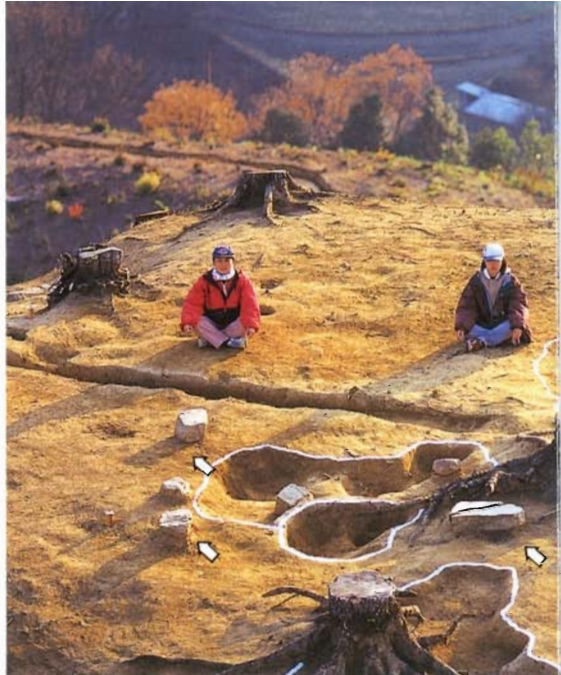


⑨ 曲輪17：
砦南西端にある小さな曲輪です。武者隠しと呼ばれています。





⑮ 通路14：
くるわ 曲輪13からくるわ 曲輪3 へのスロープにいしだん 石段が残っていました。



⑬ くるわ 曲輪4と5の間のいしがき 石垣：非常に大きな石を使用しています。
 もともとこの場所にあった石を利用したものと考えられます。



⑭ くるわ 曲輪13：東斜面にしゃめん 石垣が残っていました。

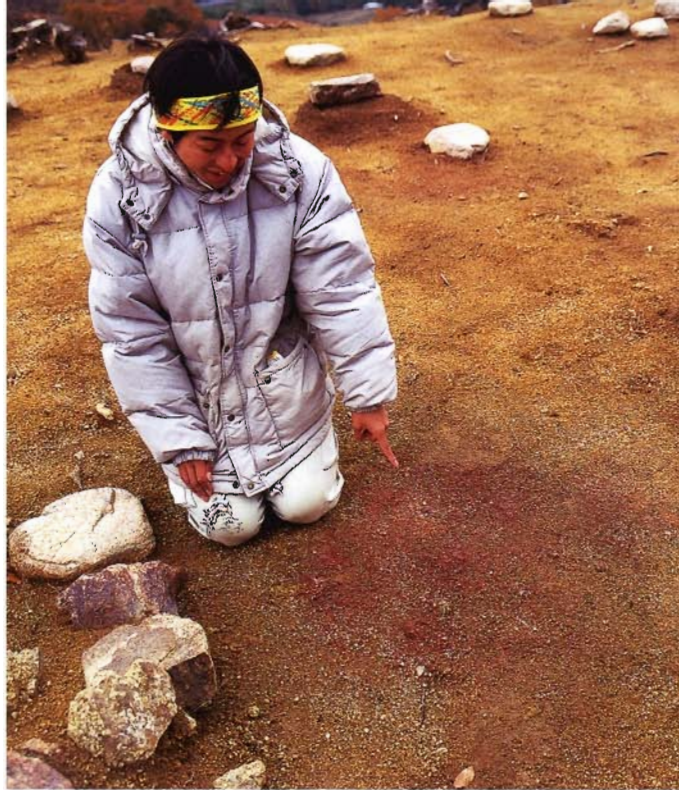


⑫ 石組のある穴（くるわ 曲輪5）





⑩建物3（曲輪3）：
礎石建物です。礎石の一部は
なくなっていました。



⑪曲輪1の平坦面が赤く焼けていました。
火災に遇ったことが考えられます。

⑬曲輪1か
スサが混じ
竹の痕跡を

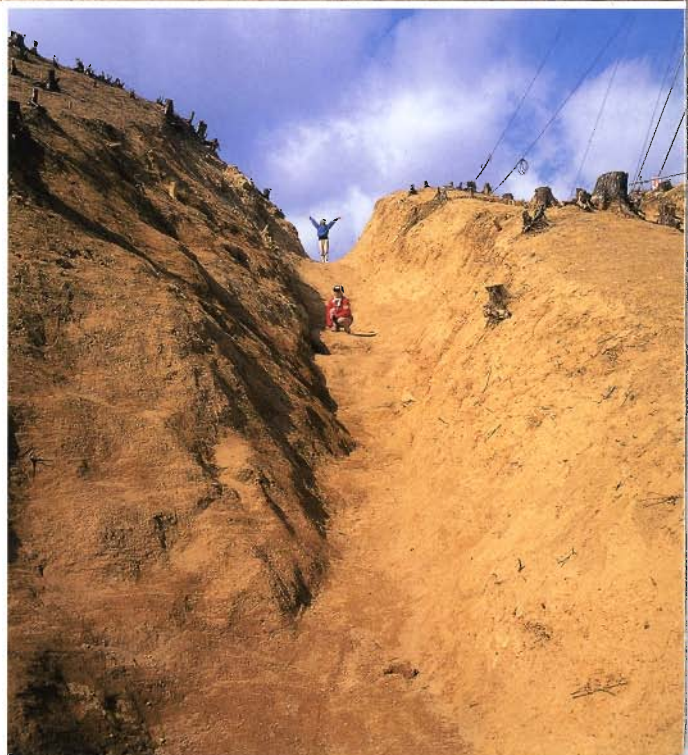


⑱礎石建物1(曲輪1)：4×8mの規模の建物
に北と南に庇がつきます。礎石や土壁が赤く
焼けており、火災に遇ったことがわかります。

土壁の多量出土：
っており、壁下地の木舞である
みることができる塊もあります。



⑳曲輪9南斜面の石垣：
全長17mあります。高さはも
う少しあったでしょう。西端
は折れ曲がっています。



㉑塹壕1：斜面に堀を掘って
敵の進入を妨げています。塹
壕に沿って東側にはさらに土
塁があります。